

生産性向上支援訓練カリキュラム

| | |
|----------------|-----------------------------------|
| A. 生産管理 | 生産性Up・低コスト化を実現するための原価管理のポイントを学ぼう！ |
| 原価管理 | 原価管理とコストダウン |

| | |
|-------------|---|
| コースの ねらい | 低コスト化と生産性向上を目指して、原価管理をコスト(費用削減)と生産性(業務効率向上)の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを習得する。 |
|-------------|---|

| | |
|-----|---|
| 対 象 | (中堅・管理者層向け) ・製造原価を見直してコストダウンしたい方 ・IE手法について学びたい方 |
|-----|---|

| | 「基本項目」 | 「主な内容」 | 訓練時間 (H) | |
|------------------|--------|---|---|-----|
| 講 義 内 容 | 1 | 原価管理とは | (1)原価管理の基礎知識 ・原価管理の目的と重要性を「製品、工場、中期」の3視点で理解し、財務会計及び管理会計との関わりを解説する。 (2)原価の構成と原価計算 ・製品原価と構成要素である「材料費、労務費、経費」のつながり、目的に応じた原価の考え方、原価計算方法について解説する。 (3)損益分岐点 ・変動費と固定費から求める損益分岐点の考え方について理解し、体質改善への活用方法、売上目標の設定方法、利益を上げるための4つの視点について解説する。 (4)財務諸表とその読み方 ・企業の経営状態を分析するための財務諸表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書)を読む際のポイント及び、原価との関わりについて解説する。 | 1.5 |
| | 2 | コスト削減 | (1)コスト削減の着眼点 ・コスト削減を製品原価と販管費の視点で捉え、変動費削減、固定費削減として、業務(仕入、生産、管理、物流他)のコスト削減ポイントを解説する。 (2)コスト削減のための発注改善 ・発注部材に応じたコスト削減、中期視点の仕入コスト削減など、発注業務の見直しによるコスト削減手法を解説する。 (3)職場の物理的ムダの改善 ・生産性向上の意味を正しく理解し、労働生産性、資源生産性の2視点から職場の物理的ムダを改善し、生産性を高める手法について解説する。 | 1.5 |
| | 3 | IE手法による標準時間設定方法 | (1)IE(Industrial Engineering)とは ・生産現場の多くで活用されているIE(Industrial Engineering)に係る基本的な考え方を解説する。 (2)標準時間の設定手法 ・標準時間の目的及び考え方と設定手法(直接時間分析法、PTS法等)について解説する。 | 1.5 |
| | 演 習 | ○基本項目の学習内容から ①直接原価計算 演習。 ②損益分岐点 演習。 ③原価見積方法 演習。 ④生産バランス分析 演習。 | 1.5 | |
| 合計時間 | | | 6.0 | |

カリキュラム作成のポイント

製造原価の基礎知識の習得を行うとともに、原価低減要因を見つけて、生産現場の具体的な改善案を従業員自ら提案できるよう、演習を踏まえた研修内容としました。

備考

・受講者:筆記用具